

# スマート農業総合推進対策事業

【令和3年度予算概算要求額 5,500（1,500）百万円】

## ＜対策のポイント＞

スマート農業の社会実装を加速するため、先端技術の現場への導入・実証や、地域での戦略づくり、科学的データに基づく土づくり、教育の推進、農業データ連携基盤（WAGRI）の活用促進等の環境整備の取組を支援します。

## ＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践【令和7年まで】

## ＜事業の内容＞

### 1. スマート農業加速化実証プロジェクト



### 技術開発・実証

スマート農業のための環境整備  
農業データの連携・共有やWAGRI活用促進のための環境整備を行います。

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
- ② 農林水産業におけるロボット技術安全性確保のルールづくり等を支援します。
- ③ 次世代につなぐ宮農体系系確立支援
- ④ データ駆動型土づくり推進
- ⑤ スマート農業教育の推進
- ⑥ データ駆動型土づくり推進
- ⑦ 遠隔宮農指導体制構築支援

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進
- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進
- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進
- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進
- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

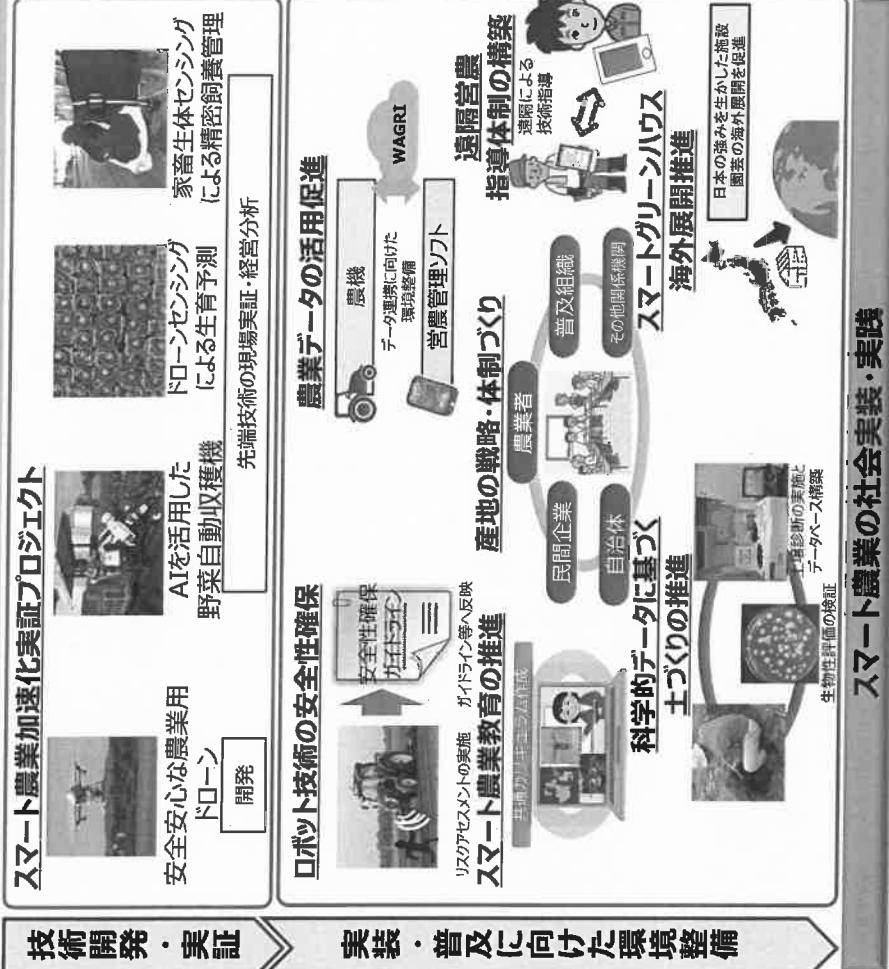
- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

- スマート農業の戦略・戦術づくり  
新たな宮農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。  
科学的データに基づく土づくり推進

## ＜事業イメージ＞



スマート農業の社会実装・実践 [お問い合わせ先] 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7462)

[1]

## スマート農業総合推進対策事業のうち

# スマート農業加速化実証プロジェクト

### <対策のポイント>

我が国農業の課題解決の鍵となる先端技術を活用したスマート農業の生産現場への導入・実証を更に進め、その成果を情報発信すること等により、スマート農業の社会実装を加速化します。併せて、安全性や省力性を向上した、新たなスマート農業機械の開発を支援します。

<政策目標>  
農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

### <事業の内容>

#### 1. 先端技術の導入・実証

- (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構という。）、農業者、民間企業、地方公共団体等が参画して先端技術を生産現場に導入・実証するとともに、スマート農業機械の広域的なシェアリング等の新サービスの活用やスマート商流との連携等のテーマに基づいた実証を行います。

#### 2. 社会実装の推進のための情報提供・経営分析

- 実証で得られた営農データや活動記録等を、農研機構が技術面・経営面から分析し、経営への影響を検証するとともに、農業者が技術を導入する際に経営判断に資する情報の提供や農業者からの相談対応を実施します。

#### 3. 新たなスマート農業機械の開発

- スマート農業の更なる普及に向け、高いセキュリティ機能を備え、利便性の高い農業用ドローンや、農作業の省力化および生産性の飛躍的向上を可能にする電動ロボット等の開発を支援します。

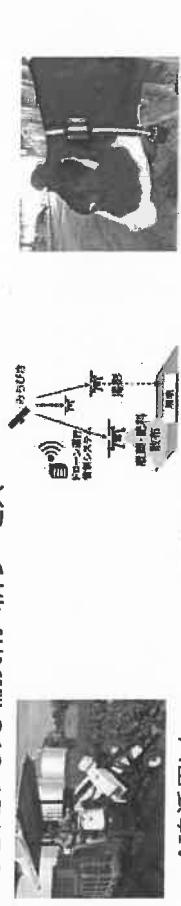
### <事業の流れ>



【令和3年度予算概算要求額 3,729（750）百万円】

### <事業イメージ>

#### 実証を想定する先端技術・新サービス



高精度なドローン運航によるセンシングや農薬・肥料散布



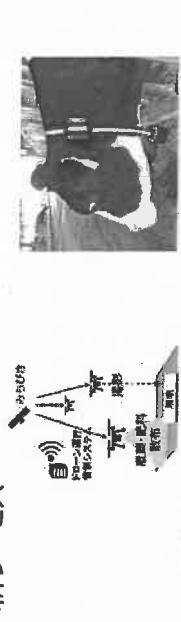
スマート商流との連携



AIを活用した雑草識別と薬剤選択  
および物理的防除

#### 「スマート農業」の普及・定着

#### 実証を想定する先端技術・新サービス



畜生体重センシングによる精密飼養管理



スマート商流との連携



AIを活用した雑草識別と薬剤選択  
および物理的防除

#### 「スマート農業」の普及・定着

\* <事業の流れ>の民間団体等は、公設試・大学を含みます。

[お問い合わせ先] 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7437)

2

# スマート農業総合推進対策事業のうち 次世代につなぐ官農体系確立支援

【令和3年度予算概算要求額 857（385）百万円】

## ＜対策のポイント＞

産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた新たな官農技術体系構築の戦略づくり、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの整理等の取組を支援します。

## ＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

## ＜事業の内容＞

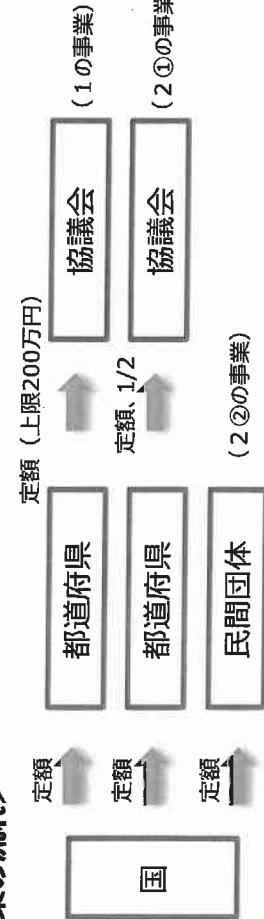
### 1. 産地の戦略づくり支援

- 労働力不足等の産地が抱える課題解決のため、担い手、ICTベンダー・農機メーカー、普及組織等の地域の関係者が参画し、新技術を組み入れた産地としての新たな官農技術体系とその実践への道筋を明確化する取組を支援します。

### 2. データ駆動型農業の実践・展開支援

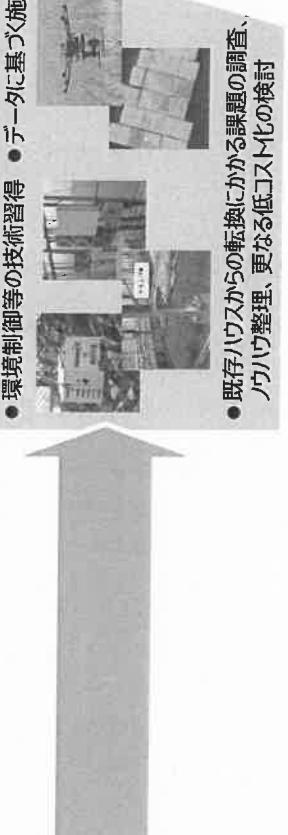
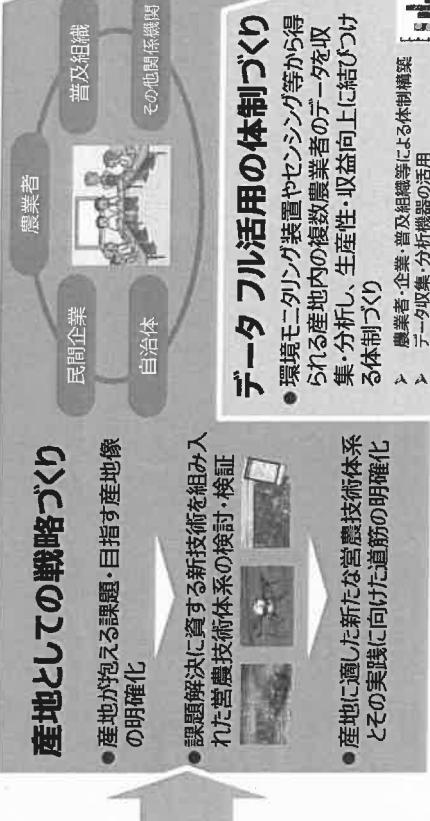
- ① データ駆動型農業の実践体制づくり支援  
施設園芸産地や麦・大豆産地を中心として、データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「データ駆動型農業」の実践を促進するため、産地としての取組体制の構築や農業者の技術習得等を支援します。
- ② スマートグリーンハウス展開推進  
既存ハウスからデータ駆動型の栽培体系への転換に係る課題の調査、ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討等を支援します。

## ＜事業の流れ＞



## ＜事業イメージ＞

### 新技術実装に向けた産地の戦略・体制づくり



- 既存ハウスからの転換にかかる課題の調査、ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討
- ノウハウの整理、更なる低コスト化の検討

# スマート農業総合推進対策事業のうち 遠隔営農指導体制構築支援

【令和3年度予算概算要求額 360（-）百万円】

## <対策のポイント>

新しい生活様式に対応した普及指導活動体制を構築するため、ＩｏＴを活用した遠隔による情報収集・技術指導など新たな普及指導活動スタイルへの転換し、スマート農業の現場実装を支援します。

## <政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

## <事業の内容>

- 新型コロナウイルス感染症を発端とした新しい生活様式に対応するため、従来の対面による営農指導や多数の農業者等を集めた研修会等の開催に代わる新たな普及指導活動を構築・転換します。また、これによりデータに基づく技術指導を通じ、スマート農業の現場実装を支援します。

## IoTを活用した遠隔での普及指導活動体制の環境整備

- ・スマート農業の現場実装を促進し、(ほ)場環境情報等の技術指導に不可欠なデータを自動計測・集約し、それを基に農業者と普及指導員等ヒトをオンラインで結ぶ遠隔営農指導を行なう体制整備を支援します。
- ・多数の農業者を集めた研修会等に代わるオンライン研修等の集団技術指導の体制整備を支援します。

## <事業の流れ>

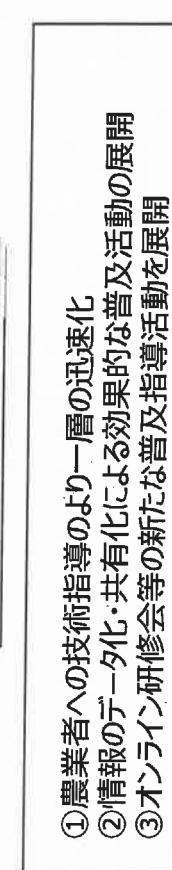
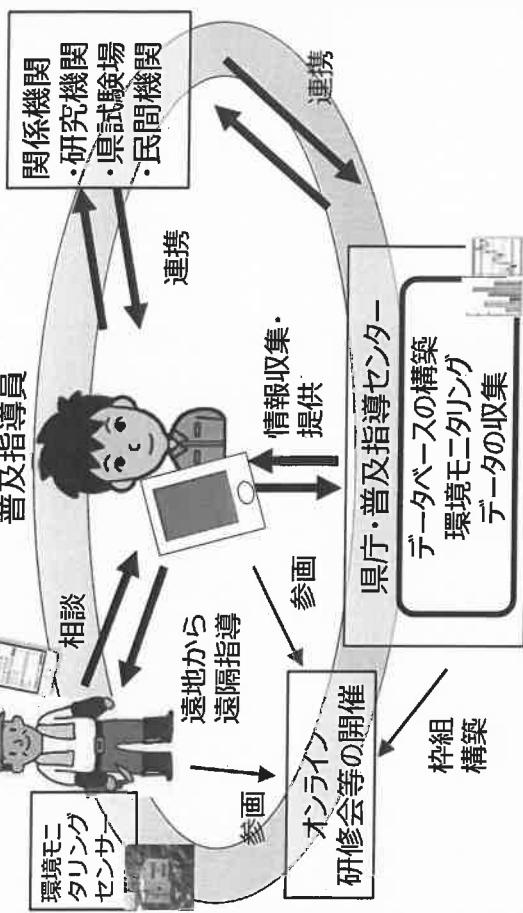
国  定額 

都道府県 

- ①農業者への技術指導のより一層の迅速化
- ②情報のデータ化・共有化による効果的な普及活動の展開
- ③オンライン研修会等の新たな普及指導活動を展開



## <事業イメージ>



[お問い合わせ先] 生産局技術普及課組織班 (03-3501-3769)

# 農業支援サービス事業育成対策

【令和3年度予算概算要求額 1,000（-）百万円】

## ＜対策のポイント＞

農業支援サービス事業体の新規参入・既存事業者による新たなサービス事業の育成・普及を加速化するため、新規事業立ち上げ当初のビジネス確立等を支援します。

## ＜事業目標＞

農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用「令和7年まで」

## ＜事業の内容＞

### 1. ビジネス確立対策

サービス量の伸び率を大幅に引き上げるため、新規事業立ち上げ当初のニーズ確保や人材育成に要する以下の取組を支援します（原則上限1,500万円）。

- ①ビジネス確立のためのニーズ調査
- ②デモ実演等に必要な機械・システムの改修やデータ収集（研修費等）等
- ③農業支援サービス事業体が行う人材育成（研修費等）等

### 2. 農業支援サービス事業のマッチング

農業支援サービス事業体と農業者のマッチングを促進するシステムの開発等を支援します。

## ＜事業イメージ＞

### 【農業現場の課題に対応した農業支援サービス事業のイメージ】

- 【課題】
  - ・農業現場の厳しい人手不足（特にピーク時の臨時雇用）
- 【課題】
  - ・収量・品質の低下
  - ・スマート農機導入コスト

- 【課題】
  - ・作業期に応じた人材派遣
  - ・ドローン防除等の作業受託
- 【課題】
  - ・データ分析/農機のシェアリング



（労働力の安定確保や作業の外部化）

### 【農業支援サービス事業の課題】

- 【具体的な課題例】

- 繁忙が明確なため、同一産地・品目では通年のニーズ確保が困難。また、複数産地・複数品目に応する場合は高度な人材の育成が必要
- 一つの作業失敗が収量・品質に大きな影響を及ぼすため、農家との信頼関係の構築に時間を要する

- ・本事業で、ニーズ調査や人材育成
- ・デモ実演に必要な機械・システムの改修等を支援

## ＜事業の流れ＞

国定額

民間団体等

[お問い合わせ先] 生産局技術普及課生産資材対策室農業支援サービスユニット (03-6744-2111)

# 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

## 【令和3年度予算概算要求額 24,497（20,020）百万円】

### ＜対策のポイント＞

産地の収益力強化と担い手の経営発展のため、産地・担い手の発展の状況に応じて必要な農業用機械・施設の導入を切れ目なく支援します。また、地域農業者との減少や労働力不足等生産構造の急速な変化に対応するための生産事業モデルや農業支援サービス事業の育成を支援します。

### ＜事業目標＞

- 加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（98万トン〔平成29年度〕→145万トン〔令和12年度まで〕）
- 中央卸売市場当たりの取扱金額の増加（695億円〔平成28年度〕→719億円〔令和6年度まで〕）
- 意欲ある担い手の育成・確保

### ＜事業の内容＞

#### 1. 地域の創意工夫による産地競争力の強化と担い手の経営発展の推進

- ① 産地基幹施設等支援タイプ  
ア 産地農業において中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等による集出荷貯蔵施設等の産地の基幹施設の導入を支援します。  
イ 品質・衛生管理の強化等を図る卸売市場施設、産地・消費地での共同配送等に必要なストックポイント等の整備を支援します。
- ② 先進的農業経営確立支援タイプ  
ア 広域に展開する農業法人等の経営の高度化に必要な農業用機械・施設の導入を支援します。
- ③ 地域担い手育成支援タイプ  
ア 地域担い手の経営基盤の確立や更なる発展に向けた農業用機械・施設の導入を支援します。

- ④ 生産事業モデル支援タイプ  
ア 農業者の経営基盤における、意欲ある経営体の共同利用機械・施設の導入を支援します。
- ⑤ 農業支援サービス事業支援タイプ  
ア 小規模・零細地域における生産事業モデルの育成を支援します。

#### 2. 生産構造の急速な変化に対応するための生産事業モデル等の育成

- ① 生産事業モデル支援タイプ  
ア 核となる事業者が連携する生産者の作業支援など様々な機能を発揮しつつ、安定的な生産・供給を実現しようとする生産事業モデルの育成を支援します。
- ② 農業支援サービス事業支援タイプ  
ア 農業支援サービス事業の育成に必要な農業用機械等の導入を支援します。

### ＜事業の流れ＞

1 / 2、3 / 10以内等

1 / 2以内

市町村

農業者等

### 【お問い合わせ先】

都道府県

農業者等

農業者等

農業者等

### 【事業イメージ】

#### 【新道府県向け交付金】

① 産地基幹施設等支援タイプ	・助成対象：農業用の産地基幹施設（耐用年数5年以上） ・補助率：1/2以内等 ・上限額：20億円等
＜優先件を設定し、輸入農畜産物の国産への切替え、中山間地域の競争力強化、集出荷・加工の効率化に向けた再編合理化等の取組を推進＞	
② 先進的農業経営確立支援タイプ	※ 助成対象者は人・農地プランの中心 ・助成対象：農業用機械・施設（耐用年数5～20年） ・補助率：融資残額（事業費の3/10以内）等 ・上限額：個人1,000万円、法人1,500万円等
＊ 経営体の強化＋経営発展の推進のため、中山間地域の導入や中山間地域の担い手の経営発展を推進	

#### 【国直接採択】

④ 生産事業モデル支援タイプ	・助成対象：農業用機械等（実証等） ・補助率：融資残額（事業費の3/10以内）等 ・上限額：300万円等
モードル等の育成	
⑤ 農業支援サービス事業支援タイプ	・助成対象：農業用機械等 ・補助率：1/2以内 ・上限額：2,500万円
農業支援サービス事業の二つに合わせた 農業支援サービスを提供 (機械アリング、データ分析等)	

人・農地プランの実質化の推進と連携

（1①ア、2①の事業） 生産局総務課生産推進室  
（1①の事業） 食料産業局食品流通課  
（1②③の事業） 経営局経営政策課担当手総合対策室  
（2②の事業） 生産局技術普及課生産資材対策室

（03-3502-5945）  
（03-6744-2059）  
（03-6744-2148）  
（03-6744-2111）

（1①の事業） 都道府県  
（2②の事業） 国

（1①の事業） 都道府県  
（2②の事業） 国